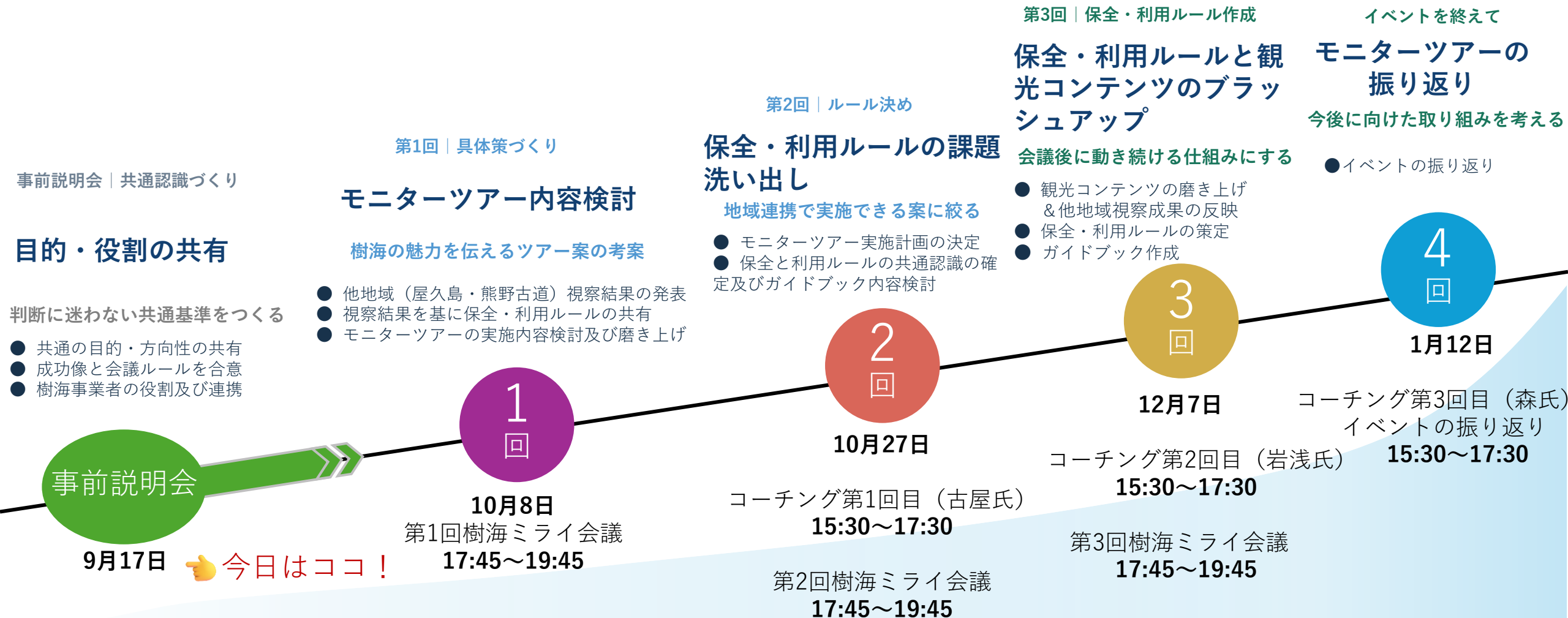


【到達目標】 共通方針・具体策・実行体制を整え、次年度の行動へ



(1) 外部専門家によるコーチング

- 樹海のブランド化を推進するため、インバウンド・サステナブル観光・販売プロモーションの分野に知見を持つ講師を招聘します。
- 古屋 絢子氏にはインバウンド視点から、外国人旅行者に響く地域資源の磨き上げや商品化に向けた助言いただきます。
- 岩浅 有記氏にはサステナブル視点から、自然環境や地域との共生を踏まえた観光コンテンツづくりを解説いただきます。
- 森 一真氏には販売プロモーション視点から、販路形成や販売促進の実践について助言いただきます。
- コーチングを担当する講師には、事前に樹海ガイドへのアンケート等を実施し、ガイドの考え方や伝えたい内容、課題等を把握していただきます。
- 各回の講習では、座学だけでなく実習・ワークショップ形式を積極的に取り入れ、参加者同士の意見交換や実践を重視した内容を予定しています。

テーマ講師案	氏名 (ふりがな)	所属・肩書	主な経歴・専門分野 (要素を反映)
第1回 インバウンド 視点		古屋 絢子(ふるや あやこ) 合同会社観光ラボ代表、全国通訳案内士(英語)	800組5000人超の訪日客を40都道府県へ案内。北米の知的好奇心の高いアップーミドル〜富裕層対象のオーダーメイド型プライベート・ツアーが得意。10年にわたり飛騨高山、白川郷や金沢など地域通訳案内士養成事業、屋久島の登山ガイド向け英語ガイド研修、文教大学「観光英語」はじめ大学や専門学校で講師担当。環境省国立公園満喫プロジェクト人材育成事業の検討委員に就任し、自らもアドベンチャー・ツアーのガイド研修を受講。グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会(GSTC)の持続可能な観光認証取得。米国セントラル・フロリダ大学院にオンライン留学(観光地経営学と富裕層観光)。「合同会社観光ラボ」 https://tourismmlabjp.com/
第2回 サステナブル 視点		岩浅 有記(いわさ ゆうき) 大正大学 情報科学部 デジタル文化財情報学科 教授	2003年環境省入省。奄美・沖縄の世界自然遺産登録などの自然環境政策など国土政策に携わり、2021年4月より現職。内閣府沖縄総合事務局「サステナブルな観光コンテンツ強化事業」検討会委員長をはじめ観光庁や総務省、各自治体のアドバイザーを務める。自然文化を活用した地域創生をテーマとした市町村の総合戦略・ビジョン策定、SDGsまちづくり、環境政策等に関する助言、地域の自然文化資源の発掘・活用策、グリーン×デジタルによる農林水産業や観光業の高付加価値化に関する講演、シンポジウム・ワークショップ企画・指導、合意形成、人材育成研修等に全国各地で取り組む。「立正大学」 https://chikouken.org/researcher/14947/
第3回 販売プロモーション 視点		森 一真(もり かずま) 株式会社羅針盤 地域プロデュース事業部 地域誘客グループマネージャー	当社は宿泊業のサポート、オプションツアーの企画運営、着物のレンタル、観光に関するコンサルティングサービス、バスやタクシーの手配、ハイヤーの運行など、観光・インバウンド領域で多様なサービスを展開しています。デジタルマーケティング企業でSaaSの事業開発等を実施。羅針盤参画後、全国各地でインバウンド向けツアーコンテンツ造成からOTA支援・ガイド育成・プロモーションまで一貫通貫で支援・講演を行う。講演はOTA掲載支援では、口コミ獲得施策などを通じて、導入から1,000名以上の送客に貢献した実績を持つ。現役SUPガイドとしての現場知見とデジタルマーケティングの知識を掛け合わせた独自のアプローチが強み。

(2) 樹海ミライカイギ新メンバーのご紹介

- 今回、樹海のブランド化を推進するため、富士山や富士山麓の自然環境・地域資源の保全等に高度なご知見を持つお二方を新たにメンバーにお迎えします。
- 前ページで実施する「外部専門家によるコーチング」では、外部専門家の講義内容について、自然環境の保全と観光との両立という視点から、樹海が持つ価値や課題について、富士山麓の最前線で活躍されるお二方よりコメントをいただき、参加者同士で意見交換したいと考えております。
- これにより、コーチング内容に対する理解を深めるとともに「樹海の自然環境を守りながら、その価値をどのように伝え、未来へつないでいくか」を考えていきます。

樹海ミライカイギ新メンバー

氏名 (ふりがな)

所属・肩書

主な経歴・専門分野



▼岩崎 仁(いわさき ひとし) 氏 富士山ネイチャーツアーズ代表

富士下山家。富士下山ツアーのパイオニアとして、登るだけではない富士山の楽しみ方を紹介し続けている。
(財)日本野鳥の会、ホールアース自然学校、環境省田貫湖ふれあい自然塾での勤務を経て、2005年に「roots&fruits NATURE TOURS」を設立。2015年「合同会社 ルーツ&フルーツ『富士山ネイチャーツアーズ』」を設立し、『富士山の知られざる魅力に出会う自然旅行へ』をテーマに富士山をメインフィールドにした様々なエコツアーを展開する。
「青木ヶ原樹海と火山洞窟探険」や「海拔0mからの富士登山」等、地底世界から山頂まで、富士山の魅力を余すところなく盛り込んだ多彩なツアー展開が最大の魅力。
「富士山のおもしろさは五合目より下にその7割がある！」を持論に富士山を歩き続けている。
その功績が認められ、第4回ジャパン・ツーリズム・アワード『国連世界観光機関 倫理特別賞』など受賞多数。



▼舟津 宏昭(ふなつ ひろあき) 氏 富士山アウトドアミュージアム代表

都留文科大学大学院修了後、認定NPO法人富士山クラブで活動。2011年に環境保全団体富士山アウトドアミュージアムを創設・主宰。2002年頃から富士河口湖町在住。富士山と、それに関わるすべてを「博物資料」と捉え、地域に根差した活動を展開。「富士山のよろず承り☑」を掲げ、野生動物の交通事故死調査、清掃活動、富士山の森が小学校や講演活動など富士山麓をフィールドに幅広い取り組みを行っている。富士山を取り巻く人・文化・暮らしを幅広く受け入れながら、地域の未来につながる活動を続けている。JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2026 優秀賞、生物多様性アクション大賞、環境美化功労者表彰などを受賞。